



「なかにいだねぎ」は，鳴瀬川の河川敷で多く見られます。（加美町中新田）

大崎地域のねぎ栽培の歴史は古く，昭和 56 年に旧中新田農協で数名の組合員による，鳴瀬川の河川敷の栽培からはじまったそうです。現在では，ねぎ部会の会員数も増加し，「なかにいだねぎ」のブランドで県内第 1 位の産地となっています。